

われら仲間たち 13

二戸布絵クラブ



布を組みあわせて驚くような作品ができます

二戸布絵クラブ（沼野節子代表）は、毎月第2・4金曜に金田一コミュニティセンターで活動する団体です。盛岡市在住の三達屋珂悦さんを講師に迎え、会員が独自の作品を作成します。平成13年度に公民館事業で講座を開催して、14年度から有志で活動を始め、今年6年目を迎えます。

「使われなくなった布との出会いがとても楽しみです」と会員のひよりは語ります。



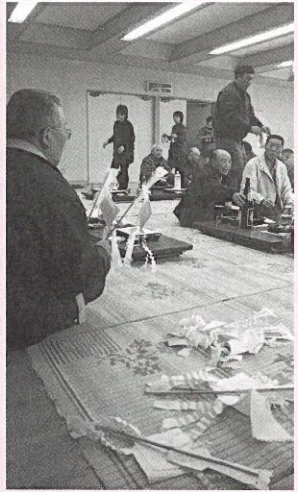
浄法寺町駒ヶ嶺地区では新春の神事として毎年1月2日に火まつりが行われます。このまつりは1年の無火災を祈願して行われているもので、地区の恒例行事となっています。

地区民は、岩手山石碑を参拝したのち、お神酒上げを行います。そこで、火まつりの主役である「水神」と火札、家ごとの神様の幣束（おはらいの時に使うたんで切った紙をスゴロ（葦の一種）に挟んだもの）を授かります。家ごとの神様はお神酒上げ後に神社のお堂に、水神は各家の台所に奉られます。

皆さん幣束というとしめ縄などについているものを思い浮かべられると思いますが、ここで奉っているのは神様ごとに違うものです。浄法寺町樋口の藤田矢一さん（75歳）は幣束切りの名人で「新山



藤田さんが切る幣束は一つひとつに表情が（写真左）、火まつりでは「水神」と、家ごとの神様の幣束が配られる（写真右）



権現」「湯殿山」「山ノ神」「弁才天」「地神」「木ノ下蒼前」などその数は30種類にもおよびます。藤田さんは、本家のおじいさんに小さいころから

教わり習得したもので、半紙と小刀を使い、1つにつき10分くらいで手際よく仕上げて行きます。建前や正月などに切ってほしいとい

う依頼が多く、昔は八幡平市の方まで届けたこともあったそうです。

現在、市では浄法寺地域の宝さがしを行っています。名勝・史跡や巨木などはもちろん地域の伝統行事やそれを支え受け継がれてきた技も大切な宝です。地域に眠っている宝をお知らせください。

駒ヶ嶺の火まつりと 幣束切りの技

パートナーシップ土曜サロン(第2回)

男女ともに活躍する社会を作るにはどうしたらよいか、ゲストにアナウンサーの西條ユキコさんを迎え、お茶を飲みながら自由な雰囲気でお話します。

日時 2月10日(土)午後1時～3時

場所 シビックセンター

テーマ 「コミュニケーション術(表現力を磨く)」

参加費・定員 200円・30人

《男も女も参画結いライブ》(仮題)

3月18日(土)に上記イベントを実施予定です。ただいま実行委員を募集しています。希望する人は、2月15日までに市まちづくり推進課(☎25-5411)へ

この欄の問い合わせ・申込先 市まちづくり推進課(☎25-5411シビックセンター内)